

■『探究Ⅱ』の評価

＜『探究Ⅱ』マスタールーブリックの作成・活用・修正に当たって＞

- ・本ルーブリックは、年間指導計画の評価の観点と能力記述文で具体化したものである。
指導や活動の際の目的や目標の目線合わせを行ったり、指導計画を見直したりする際に用いる。
- ・評価場面における具体的な評価基準については、このマスタールーブリックを基に作成する。
- ・評価の観点は、以下のとおりである。（具体的な評価場面は、「年間シラバス」を参照。）
①「批判的思考力」 ②「協働的思考力」 ③「創造的思考力」
- ・外部指標による客観的評価と連動させるため、ルーブリックを作成する際には、GPSアカデミックテストの「CAN-DOリスト」を参照する。
- ・最終的な評価（通知表・要録）は、生徒個別に文章で記述する。
- ・生徒の具体的な活動場面、成果物等を基に、ルーブリックを随時修正する。（年間2回をめやす）

	批判的思考力	協働的思考力	創造的思考力
	情報の抽出や吟味	他者との共通点・違いの理解	情報・知識の関連付け
	論理的表現	人との関わり・集団への主体性	問題把握と具体的解決
S	<input type="checkbox"/> 記事や編集の目的に応じて、探究Ⅰや他教科で使用した資料を探し出し、情報を取り出すことができる。 <input type="checkbox"/> 情報の背景や読み手の立場を踏まえて内容の正しさを適切に判断できる。 <input type="checkbox"/> 資料や既習の知識・技能を活用して、読み手を意識した説得力のある記事を作成することができる。 <input type="checkbox"/> 新聞編集や記事紹介を行う際に、主張とその根拠を具体的に示しながら表現することができる。	<input type="checkbox"/> 異なる文化圏における信念や価値観の違いを理解するとともに、集団で取り組む際の個々の生徒の強みを生かし、弱みに配慮した取組ができる。 <input type="checkbox"/> 記事間、又は記事作成チーム内の違いを認めつつ、アイデアを集約・洗練・修正などして建設的に合意形成できる。 <input type="checkbox"/> 記事作成、新聞編集の際に主体的に集団に関わり、他者と刺激し合いながら解決策を検討できる。	<input type="checkbox"/> 既習の知識・技能・経験等を組み合わせて解決すべき問題を特定し、複数の解決策を提案・比較検証したうえで、最善の解決策を選択できる。 <input type="checkbox"/> 記事の基となる情報や背景を踏まえるとともに、他の問題解決に際してそれまで問題解決のプロセスや解決策を応用できる。 <input type="checkbox"/> 見通しをもって同時に複数の問題の解決に当たることができ、他のチームや他クラスの取組も参考に効果的で実現可能性の高い解決策を提案することができる。
A	<input type="checkbox"/> 探究Ⅰや配布された資料から、目的に応じて情報を取り出すことができる。 <input type="checkbox"/> 情報の正しさを客観的に判断できる。 <input type="checkbox"/> これまでの資料を踏まえて、又は指示や支援があれば既習の知識や技能を活用して、読み手を意識した記事を作成することができる。 <input type="checkbox"/> 新聞編集や記事紹介を行う際に、主張とその根拠を示して表現することができる。	<input type="checkbox"/> 異なる文化圏における信念や価値観の違いを理解し、集団で取り組む際に個々の生徒の強みを生かした取組ができる。 <input type="checkbox"/> 記事間、又は記事作成チーム内の違いを認めつつ、アイデアを集約・修正して、一定の条件下で建設的に合意形成できる。 <input type="checkbox"/> 記事作成、新聞編集の際に主体的に集団に関わり、アイデアを出し合いながら解決策を検討できる。	<input type="checkbox"/> 既習の知識や資料を基に解決すべき問題を特定し、複数の解決策を提案・比較検証したうえで、よりよい解決策を選択できる。 <input type="checkbox"/> 他の問題解決に際してそれまで問題解決のプロセスや解決策を振り返り、応用できないか検討することができる。 <input type="checkbox"/> 同時に複数の問題の解決に当たることができ、他のチームの取組も時に参考にして効果的な解決策を提案することができる。
B	<input type="checkbox"/> 編集部や教師の指示や支援があれば、情報を取り出すことができる。 <input type="checkbox"/> 情報を分類・区別して評価できる。 <input type="checkbox"/> これまでの資料を踏まえて、読み手を意識した記事を作成することができる。 <input type="checkbox"/> 新聞編集や記事紹介を行う際に、主張とその根拠を示して表現することができる。	<input type="checkbox"/> 異なる文化圏における価値観の違いを理解し、集団で取り組む際に生徒間で協力して取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 記事間、又は記事作成チーム内の違いを認めつつ、アイデアを集約・修正して、一定の条件下で建設的に合意形成できる。 <input type="checkbox"/> 記事作成、新聞編集の際に集団に協力し、他者とともにアイデアを出し合うことができる。	<input type="checkbox"/> 一定の条件に従って、解決すべき問題を特定し、複数の解決策の中から自分たちなりの解決策を選択できる。 <input type="checkbox"/> 教師や編集部の支援を受けて、他の問題解決に際してそれまでの問題解決策を振り返り、解決策が適切か、検討することができる。 <input type="checkbox"/> 教師や編集部の支援を受けて、複数の問題の解決に当たることができ、解決策を提案することができる。
C	<input type="checkbox"/> 指導や支援に従って情報を取り出したり、評価したりすることができる。 <input type="checkbox"/> 何らかの主張や根拠を表現することができる。	<input type="checkbox"/> 異なる文化圏における信念や価値観、生徒間の考え方の違いを理解することができる。 <input type="checkbox"/> 指導や支援に基づいて、アイデアを修正して、一定の条件下で合意形成に参加できる。 <input type="checkbox"/> 記事作成、新聞編集の際に集団の活動に指導や支援があれば協力できる。	<input type="checkbox"/> 指導や支援に従って、解決すべき問題を特定し、自分たちなりの解決策を選択できる。 <input type="checkbox"/> 教師や編集部の支援を受けて、解決策が適切か、検討することができる。 <input type="checkbox"/> 教師や編集部の支援を受けて、問題の解決に当たることができ、解決策を提案することができる。
D	<input type="checkbox"/> 指導や支援があっても情報を取り出したり、評価したりすることができないことが多い。 <input type="checkbox"/> 表現することができない、又は評価外。	<input type="checkbox"/> 異なる文化圏における信念や価値観、生徒間の考え方の違いを理解したり、アイデアを修正したり、集団の活動に協力したりすることの必要性は理解できる。	<input type="checkbox"/> 自分なりの観点で何らかの解決策を選択したり、他者の提案に同意したりすることができる。 <input type="checkbox"/> 具体策を見い出せない、又は評価外。